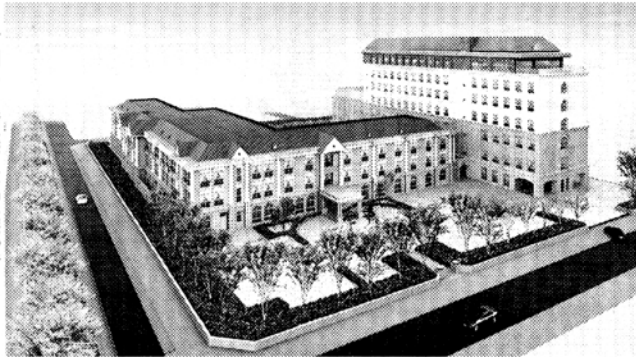


MUM 浦安の医療・福祉施設増築が起工

MUM(浦安市)が、介護付有料老人ホーム「舞浜倶楽部 新浦安フォーラム」に病院と介護付有料老人ホームで構成する複合施設を増築する、(仮称)医療・福祉施設増築工事の地鎮祭が3日、千葉県浦安市の建設地で開かれた。



右側の7階建てが増築部分
(左は既存の新浦安フォーラム)

病院+介護付ホーム 富士を望むスカイデッキも

設計・監理は伊藤喜三郎建築研究所が担当し、松井建設が施工する。2012年4月のオープンを目指す。

増築規模はRC造地下1階地上7階建て延べ7941平方メートル。1階から3階に72床の総合病院、4階から7階に79床の介護付有料老人ホームを設ける。病院は「やし

ん」で、7階は「やしん」のスカイデッキや食堂、ラウンジ、展望風呂を設ける。

の木会浦安中央病院」(浦安市)が移転し、テナントとして入居する。有料老人ホームは、舞浜倶楽部(同市)が運営。施設の老朽化が進む富士見サンヴァアロ(同市)を移転し、「新浦安サンヴァアロ」とする。7階には、富士山が見えるスカイデッキや食堂、ラウンジ、展望風呂を設ける。

増築規模はRC造地下1階地上7階建て延べ7941平方メートル。1階から3階に72床の総合病院、4階から7階に79床の介護付有料老人ホームを設ける。病院は「やしん」で、7階は「やしん」のスカイデッキや食堂、ラウンジ、展望風呂を設ける。



鎌入れする原社長



鎌入れする六井社長



鋤入れする松井社長

神事では、鎌(かま)入れを原社長、鋤(すき)入れを松井隆弘社長、松井建設社長が行った。高須信美浦安中央病院院長、グスタフ・ストランデル舞浜倶楽部総支配人、向川朋宏松井建設東京支店建築第一工事長らが玉串を捧げた。神事後の直会(なおりい)で、

原社長は「安心と幸せを追求する倶楽部の理念をかたちにしよう」と、効率的で安全・安心な建物、

松井社長は「既存施設を施工した時とほとんど同じメンバーで取り組む。皆さまに喜んでいただける建物を造り上げたい」と決意を述べた。

建設地は、JR京葉線・新浦安駅に近い新浦安フォーラム(浦安市高洲1-2-1)敷地1万0890平方メートル。

設計・監理 伊藤喜三郎
施工 松井建設

来春オープン

MUMと舞浜倶楽部は、ともに不動産会社「ダイニチ」(同市)のグループ企業。